

市長への手紙



今回は市長からの手紙です



「チェンジ！ハママツ」では、今後の浜松市政をよりよい方向へチェンジしていくため、市民の皆さんから鈴木康友市長への手紙を募集します。第1回は康友市長から市民への手紙です。

子育て支援を1本の線で結び一貫した取り組みを進めます

こんにちは。鈴木康友です。このたび創刊した「チェンジ！ハママツ」では、わたしがマニフェストの第一に掲げた「こども第一主義」を特集しました。ここで、改めて「こども第一主義」へのわたしの思いをお伝えしたいと思います。

わたしは、父が中学・高校の教員、母が幼稚園の先生という教育一家に育ちました。それだけに教育というものに特別な思い入れがあります。また、わたしは松下幸之助氏が創設した「松下政経塾」の出身。ここでは「松下氏の人づくりの経験を踏まえ、教育は国家百年の大計である」と教えられました。市の行政も同じです。もちろん、道路を造ったり、産業を育てたりすることも大

事ですが、長い目で見て最も大切なのは教育ではないでしょうか。

今回の特集は、就学前の児童を対象とした子育て支援を取り上げました。しかし、それぞれの行政課題は独立した個別のものではありません。妊娠、出産、就学前の子育て、教育は、すべて1本の線につながっているんです。わたしは、これらの課題に縦割り行政で対応するのではなく、「こども第一主義」の太い横串を通して、一貫した取り組みを進めていきたいと考えています。同時に行政の効率化を進め、市民にとってベストの施策を推進したいと思っています。

（こども第一主義）をテーマに、市長への手紙を広聴広報課まで郵便でお送りください。字数は600字程度。匿名でも構いません。住所は裏表紙に記載。締め切りは平成20年11月1日）

※当コーナーへ寄せられた主なお手紙は次回の誌面で紹介させていただきます。なお、個別に回答はいたしません。

特集タイトルの由来

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア

Martin Luther King, Jr.

(1929~1968)

「I have a dream」

(わたしには夢がある)

1950~60年代の米国で、アフリカ系米国人の公民権運動を指導した通称「キング牧師」。「I have a dream(わたしには夢がある)」で始まる有名な演説で、人種差別撤廃の高まいた理想を訴えました。今号の特集タイトルは、このキング牧師の言葉に子どもたちの未来への夢を重ね合わせています。